

鉄砲洲神社 論語素読 解説
(平成 23 年 10 月 7 日)

泰伯第八

16 子曰く、狂きやうにして直ちよくならず、侗どうにして愿げんならず、慳けん慳けんとして信しんならざるは、瞽こ之しを知らず。

狂は志が大きく小さな事にはかまけない人のことを言い、俗に青二才という事です。直は正直。侗は無知です。愿は謹厳実力の愿ですから慎み深くはない。無知で慎み深くはない人。慳慳は無能です。信はならざるは、信頼できないと云う意味です。

孔子が言うには、志だけは非常に大きいけれど不正直であり、ものを知らないのに慎み深くなく、その上、能力がなく信用ができない人物。こういう人達を私は、どう教育・指導したら良いか分からない。

現代でみますと、若い人間は大言壮語するけれども、あまり正直ではない。

鳩山さんも菅さんも大きい事は言っていました、すぐ前言撤回をしています。その二人の酷さに反省して、今の野田さんは大きい事をあまり言いませんが、先々の事が見えてこない。ハネムーンの期間中は仕方がないのかなと思って見えています。前の二人はあまり正直者では無かったので、野田さんは正直に見えるのが良さそうな所です。

ものを知らなくて慎み深くないと云うと、菅さんも鳩山さんも総理大臣として承知しておかなければならない外交または日本の防衛について、自衛隊はどうあるべきか、どう行くべきか、どういう内容なのかを知らない。

この間シビリアンコントロールについて発言した人が辞めました。あまりものを知らないで大臣になる。そういうご時世なので、日本国としては苦しい所です。

能力がない、信用がない人が多いのは困ったものだなと感じますが、今の大臣達をみていると、色々当てはまってみえてしょうがないです。これはちょっと怖いなと思います。

この間、ゆっくり時間をかけて東大を散策して来ました。それでちょっと怖いなと思ったのは、設備面でお金をかけていなく、建物も古くなっている。放射能なども管理しているようなので何かあった時に漏れだしたら、それをコントロールする意識が薄い様に感じました。歴史やネームバリューに隠れて見過ごすと、大変な事が起きた時に、とんでもない事が発生しそうだなという気がしました。

17 子曰く、学がくは及およばざるが如ごとくするも、猶なほ之これを失うしなわんことを恐おそる。

いつでも学問を怠らない様に常に努力をし、励んでいる。でも自分の目標にこのペースでは追いつけないのを恐れる。そういう風な覚悟で学問をするのが良いでしょう。

18 子曰く、巍巍ぎぎ乎こたり、舜禹しゆんうの天下てんかを有たもつや。而しこうして与あずからず。

巍巍乎は非常に高く大きい。舜という君主、禹という君主。これらの人が君主として天下を司っていました。その二人は直接政治に携わっておらず、自分の配下で賢いと思われる人達に任せて、ほとんど政務に関しては気にしないでおり、人に預けて日々問題なく過ごしているという事を孔子が言っています。

自分の部下を信じて任せて良いという様な総理大臣が出てきてくれば、日本もたいしたものだと思います。

形を変えて、会社や組織などでトップが何もしないで、片腕が動いて全て処理をしてくれると、会社なり組織が発展していく事でしょう。

そういう方向に日本が向かっていけば良いなと思います。